

午後6時のチャイムについて

【内容】

小学校低学年の子どもさんを持つ親数人より、「冬場は午後5時になっていたチャイムが午後6時に変わり、子どもの帰りが遅くなった。5時にも鳴らしてもらえないのだろうか？」と相談がありました。陽が長くなったとはいえ、生活リズム（就寝時間等）が変わるわけではないので、5時にも鳴ったほうが良いのではと思います。チャイムを合図に帰ると言う子ども達が多いので、ご検討よろしく願い申し上げます。

【回答】

現在旧田辺市では、6月始めから9月10日までは午後6時、9月11日から翌年の5月末日までは、午後5時にチャイムを鳴らしています。

このチャイムにつきましては、生徒児童に日没が近づいていることを知らせるためのものであり、「チャイムが鳴ったから直ぐに帰宅しなさい。」とか、「チャイムが鳴るまで外で遊んでいてもいい。」とかというようなものではなく、あくまでも「日没が近づきましたよ。」といった目安的なものであります。

従いまして、日没の時間に対応して、夏場とその他の季節で1時間ずらしています。

また、学校によっては多少の違いがありますが中学校のクラブ活動の時間が概ね春から夏にかけては午後5時45分か午後6時までで、秋から冬にかけては午後4時45分か午後5時までとなっています。

以上のようなことを考慮して、現在のチャイムの時間を設定しているわけです。

児童生徒の帰宅時間につきましては、各家庭におかれても種々事情があり、一概に設定できないということと、あくまでも「日没が近づいてきましたよ。」という目安的なものであるということをご理解いただきたいと思います。

(担当：青少年補導センター)